

－ 障害児版 －
事業プロフィール

1. 施設・事業所名 :
2. (1)設置主体 :
(2)運営主体（法人名等） :
3. 施設・事業所名所在地 :
4. 施設・事業所の長の氏名（施設長等） :

5. 連絡先
Tel
Fax
Eメール
ホームページ

6. 第三者評価の受審状況

受審の有・無	・受審あり ・受審なし（今回がはじめて）
福祉サービス第三者評価受審ありの場合	・受審回数：（ ）回 ※今回を除く ・直近の受審年度：平成（ ）年度

7. 同一法人（運営主体）が実施している他の福祉・医療サービス
 - 1)
 - 2)
 - 3)
8. 施設・事業所の開設から現在までの重要な変遷（制度改正に基づくもの含む）
 - (1)開設時期 年 月
 - (2)重要な変遷

9. 理念・基本方針

施設・事業所としての理念・ビジョン・使命など経営・運営方針などのうち、特に重要なものを記述

- (1)理念
 - 1)
 - 2)
 - 3)
- (2)基本方針
 - 1)
 - 2)
 - 3)

10. 施設・事業所としての、利用者のニーズ、利用者の自己決定の尊重への考え方

- 1)
- 2)
- 3)

11. 施設・事業所としての特徴的な取組

- 1)
- 2)

12. 職員数及び職員の状況

(1) 常勤職員数 _____ 人
 非常勤職員数 _____ 人（常勤換算 _____ 人）

（計算式：非常勤職員のそれぞれの勤務延時間数の総数÷当該施設・事業所の常勤職員が勤務すべき時間数）

(2) 職員の配置状況

※下記以外の職種は空欄に適宜追記してください

職種	常勤	非常勤	職種	常勤	非常勤	職種	常勤	非常勤
医師			理学療法士			心理判定員		
看護師			作業療法士			心理指導担当職員		
准看護師			言語聴覚士					
保健師			児童指導員					
保育士			児童発達支援管理責任者					
栄養士			機能訓練担当職員					
調理員			職業指導員					

(3) 非常勤職員の勤務形態と業務内容

* 職員種別は、パート、アルバイト、派遣、契約等、施設・事業所で通常使用している呼称で
 ご記入ください。

職員種別	人数	勤務形態 (勤務時間、シフト)	業務内容

※上表の状況がわかる資料の添付でも構いません

(4) 前年度採用・退職の状況
 採用 常勤： _____ 人・非常勤： _____ 人
 退職 常勤： _____ 人・非常勤： _____ 人

(5) 常勤職員の平均年齢 _____ 歳

(6) 常勤職員の男女比 男性 _____ % / 女性 _____ %

(7) 常勤職員の平均在職年数 _____ 年

（現在の施設・事業所での在職年数とする）

(8) 介護に携わっている職員（非常勤は常勤換算）1人当たりの利用者数 _____ 人
 （計算式：定員÷介護に携わっている職員数）

13. 期待する職員像

(1)職員に求めている人材像や役割

(2)職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）

14. 職員の確保と定着、育成に関する基本的考え方と主な取組

(1)確保・定着、育成に関する基本的考え方

(2)具体的取組

15. 現在のサービス提供能力と利用者数（以下のどれかに○をつける）

- 1) サービスを希望しながら待っている人(事業所に登録している待機者)がかなりいる
- 2) ほぼ定員を満たしている
- 3) 定員を満たしていないので、希望者があれば受け入れたい
- 4) その他（)

16. 福祉サービスの質の向上に向けた取組と課題

(1)福祉サービスの質の向上に向けた取組

- 1)
- 2)

(2)福祉サービスの質の向上に向けた取組における課題

- 1)
- 2)

(3)福祉サービスの質を向上させていくためにこれから何をしていかなければならないか

（例. 経営改善への職員の参画、職員の能力開発、リーダーの育成、給与制度の改善など）

- 1)
- 2)

17. 現在の事業運営上の課題と中長期の目標（ビジョン、組織が目指す姿）

(1)現在の事業運営上の課題

- 1)
- 2)

(2)当施設・事業所の3年後の見通し（以下のどれかに○をつける）

- 1) 利用者数の増加を見込んでサービス提供能力を拡大する計画がある
- 2) サービス提供能力を拡大する計画はないが、サービス提供能力に見合う利用者数は維持できると思う
- 3) 現在の利用者数を維持するのは、余程、経営改善・サービス改善をしていかないとかなり厳しい情勢になっているのではないかと思う
- 4) その他（)

(3)中長期（3～5年）の目標（ビジョン、組織が目指す姿）

- 1)
- 2)

18. 地域の福祉ニーズとして把握している事項と当施設・事業所としての具体的な取組

(1) 地域の福祉ニーズ

(2) 当施設・事業所としての具体的な取組

19. 定員及び現在の利用者

(1) 定員 _____ 人

(2) 前年度の稼働率（延べ利用者数／定員×365日） 約 _____ %

新規の申込者が1年以内に利用できる可能性

（前年度の退所者数÷現在の待機者数×100） _____ %

(3) 前年度の入退所者数

入所 _____ 人

退所 _____ 人

主な退所理由

（例：在宅に戻った、他施設・事業所へ移った、アパートなどで生活を始めた、病院への入院）

1. _____ (_____ 人)

2. _____ (_____ 人)

3. _____ (_____ 人)

(4) 平均在所期間 _____ 年 _____ 月

(5) 現在の利用者の状況

①現在の利用者数 _____ 人

②男女比 男性 _____ % / 女性 _____ %

③平均年齢 _____ 歳

④日常生活動作等の状況

	食事介助	排泄介助	入浴介助	着脱衣介助
自立				
一部介助				
全部介助				

⑤障害の状況

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他
身体障害							
知的障害							
精神障害							

⑥車椅子を常時使用している人（うち手動 _____ %）

（計算式：車椅子を常時利用している人数（うち手動）÷現員数×100）

（うち電動 _____ %）

（計算式：車椅子を常時利用している人数（うち電動）÷現員数×100）

⑦利用者の住所（市区町村）で多いものを上位2つ記述

（計算式：入所者の多い市区町村から入所した利用者数÷現員数×100）

1. _____ (_____ %) / 2. _____ (_____ %)

⑧通所方法 ※該当する施設・事業所のみ回答

	通所方法	人数
自力で通所が可能な者	徒歩で通所	
	電車・バス等	
	自転車	
	その他	
通所に介助を必要とする者	家族による送迎	
	施設所有バスによる通所	
	その他	

⑨排泄介助を要する人 (常時 _____ %、夜間のみ _____ %)
 (計算式：常時介助を必要とする者÷現員数×100、夜間介助を必要とする者÷現員数×100)

※該当する施設・事業所のみ回答

⑩食堂で食事をすることが可能な人 _____ %
 (計算式：食堂で食事をすることが可能な人数÷現員数×100)

※該当する施設・事業所のみ回答

⑪趣味の活動が行われている場合は、その活動に参加している人 _____ %
 (計算式：趣味の活動参加人数÷現員数×100・1人の利用者が複数の趣味の活動に参加している場合も参加人数1名として計算する)

※該当する施設・事業所のみ回答

20. 施設の状況

(1)居室の状況 ※該当する施設・事業所のみ回答

①定員に対する個室の割合 _____ %
 (計算式：個室の定員の合計÷定員×100)

②定員1人当たり居室面積 _____ m²
 (計算式：居室面積合計÷定員)

③個室以外の場合の間仕切りの種類 (該当にすべて○)

1. 家具 2. カーテン 3. その他 (具体的に： _____)

④自室にトイレを有するベッド数の定員に対する割合 _____ %
 (計算式：トイレがある部屋のベッド数÷定員×100)

(2)食堂の状況 ※該当する施設・事業所のみ回答

①食堂の数 _____ カ所

②定員1人当たりの食堂面積 _____ m²/人

(3)建物等の状況

①建築 (含大改築) 後の経過年数 _____ 年

②建物の形態 (_____ 階建)

③3年以内の大改築計画の有無 1. 有 2. 無

(4)立地条件

①交通の便

_____ 駅から 徒歩・バス・その他 (_____) で _____ 分
 バス停 _____ から 徒歩 _____ 分

②近隣の環境（スーパー、公園等までの距離など）

（）

(5)送迎状況（例：バスの運行時間、送迎時の車両の形態等）※該当する施設・事業所のみ回答

（）

21. 評価を実施するにあたり、評価機関に知っていて欲しいこと（要望、留意して欲しいことを含む）を自由にご記入ください。
